

2015年3月期 決算説明会説明資料

2015年5月12日
株式会社 ドリームインキュベータ
(証券コード 4310)



2015年3月期決算概況

各事業の状況

2015年3月期 決算概況

増収増益

- 連結売上高（過去最高） 133 億円（+47%）
- 当期純利益 9.9 億円（+16%）

営業投資のキャピタルゲインも過去最高 27 億円

保険事業113条繰延資産を一括償却 ▲ 16.7 億円

欠損金が無くなり、法人税が再開 5 億円

ROE 8.3%

2015年3月期 連結P/L

(単位：百万円)	2014年3月期	2015年3月期	増減率
プロフェッショナルサービス事業	2,171	2,504	15%
保険事業	5,100	6,363	25%
営業投資事業	1,011	3,671	263%
アソシエイトサービス事業	744	713	-4%
その他事業	64	90	40%
売上高合計	9,092	13,343	47%
プロフェッショナルサービス事業	490	830	69%
保険事業 *	451	▲ 1,045	-
営業投資事業	835	2,559	206%
アソシエイトサービス事業	▲ 151	▲ 331	-
その他事業	8	▲ 43	-
セグメント損益合計	1,633	1,969	21%
本社費	491	621	26%
営業利益	1,141	1,348	18%
営業外損益	▲ 39	25	-
経常利益	1,101	1,373	25%
税金・少数株主損益	247	380	-
当期純利益	854	993	16%

* 保険業法第113条繰延資産の一括償却（16.7億円）による影響

注： 金額の表示単位未満は切り捨て

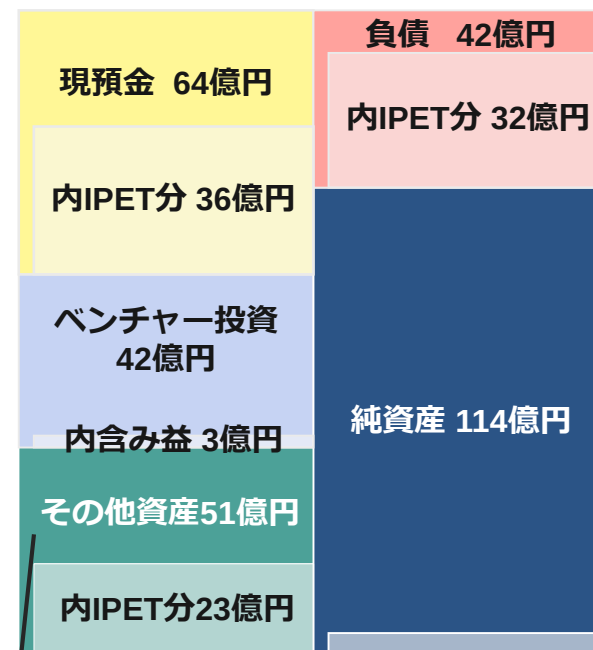
2015年3月期 連結B/S

2014年3月末
(総資産：195億円)



内IPET少数株主
持分6億円

2015年3月末
(総資産：157億円)



内、株式売却未収入金8億円

内IPET少数株主
持分6億円

純資産 増減内訳

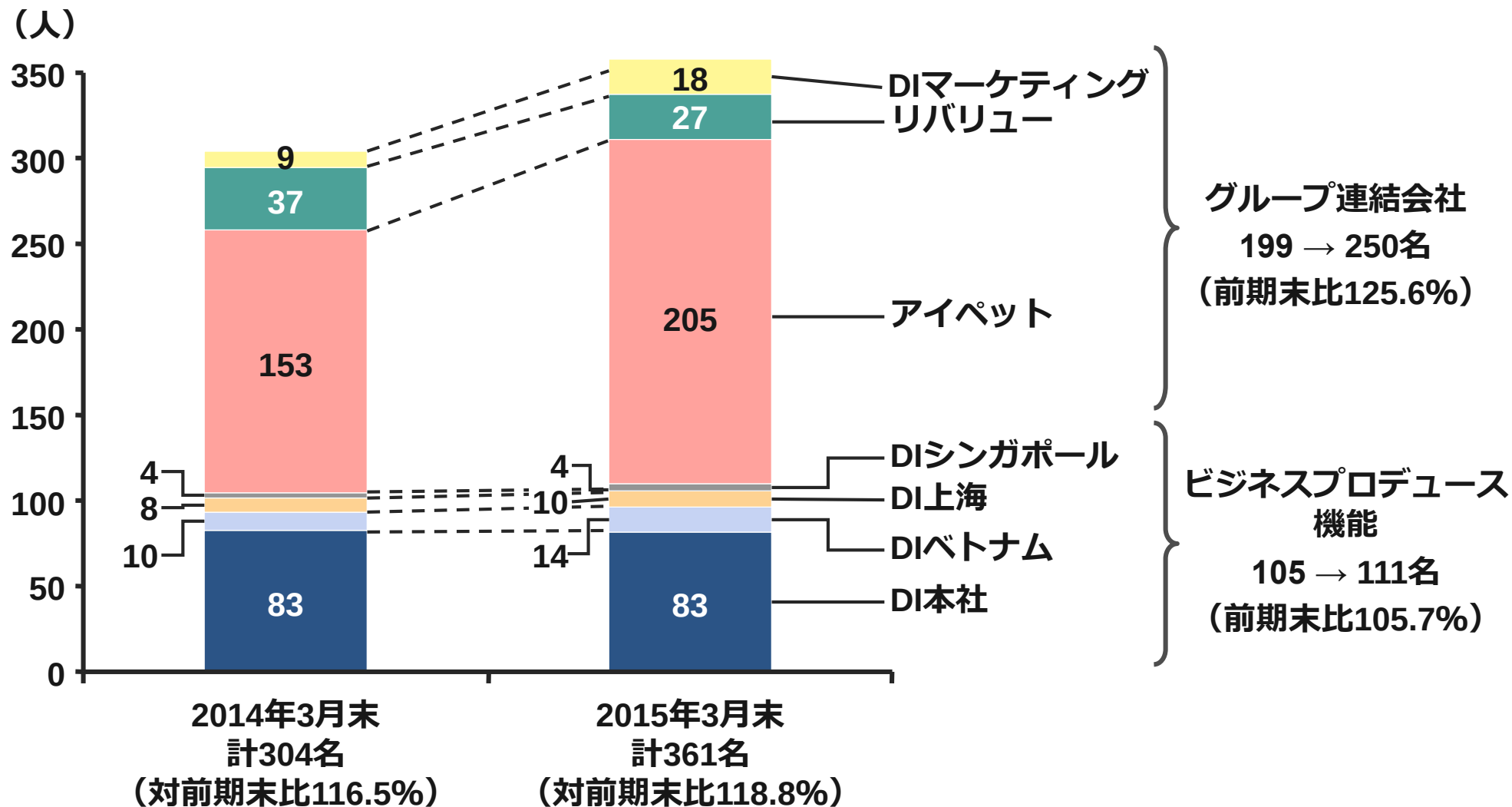
● SO行使	+2.3億円
● 当期純利益	+9.9億円
● 配当金支払	△2.5億円
● 自己株取得	△4.9億円
● 包括利益	△32.6億円
● その他	△1.0億円
合計	△28.9億円

注：金額の表示単位未満は切り捨て

2015年3月期 連結CF

科目	金額	内訳
ビジネスプロデュース収入	23.5 億円	他、期末未収入金残高8億円
保険料収入	61.4 億円	
営業投資収入	28.3 億円	
アセットリクイデーション収入	7.8 億円	
その他収入	0.8 億円	
収入合計	122.1 億円	
固定費等	81.6 億円	
営業投資有価証券取得	16.2 億円	
支出合計	97.9 億円	
営業C/F	24.2 億円	
定期預金	▲ 1.0 億円	定期預金の預入による支出
113条繰延資産繰入	▲ 6.5 億円	
貸付金	▲ 1.1 億円	
固定資産取得	▲ 1.2 億円	
その他支出	▲ 0.2 億円	
投資C/F	▲ 10.2 億円	
配当金の支払	▲ 2.5 億円	
自己株式の取得(ESOP/BIP)	▲ 4.9 億円	
SOの行使	1.6 億円	
その他収入	▲ 0.2 億円	
財務C/F	▲ 6.1 億円	
外貨換算差額	0.5 億円	
C/F合計	8.3 億円	
実質現預金増加額	9.4 億円	定期預金(3ヶ月超)を含む実質CF

連結人員数

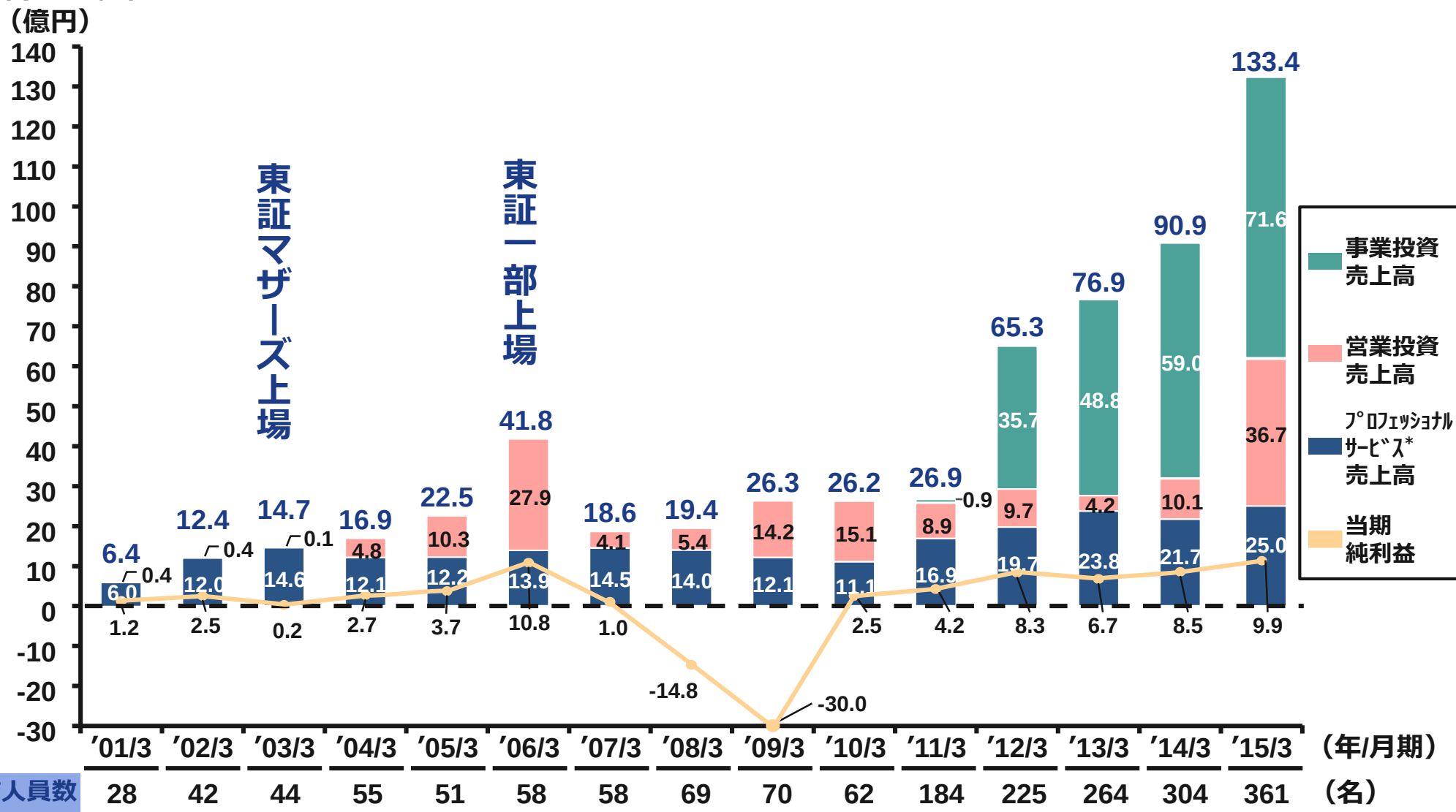


注： 各内訳人数は勤務地ベース
パート、アルバイト等の非正規を含めた直接雇用的人数

連結業績推移

参 考

売上高/当期純利益



* プロフェッショナルサービス事業には、コンサルティングの他、FA、教育を含む

Dream Incubator Inc.

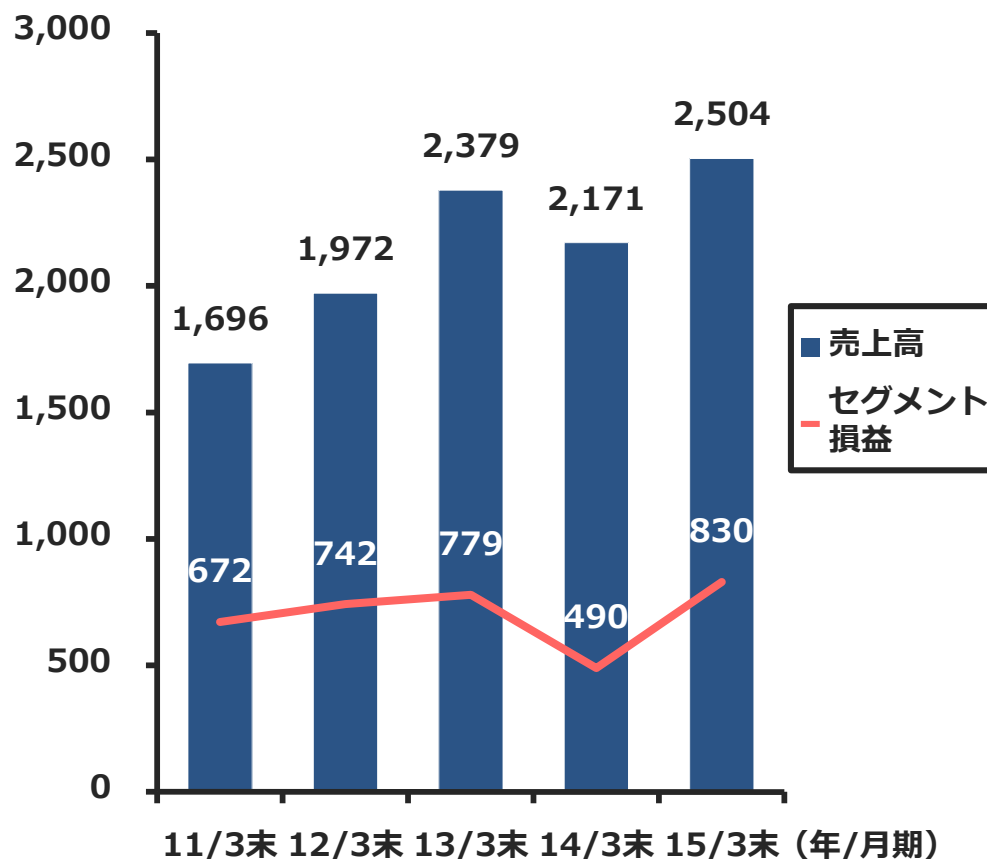
2015年3月期決算概況

各事業の状況

① プロフェッショナルサービス事業

業績推移

(百万円)



取組状況

過去最高売上高（対前期比+15.4%）

- 既存顧客からの継続案件受注が好調
- 海外現地法人においては、新規顧客からの受注も増加

主なプロジェクトテーマ

- R&D・技術戦略
- 新規事業・成長戦略
- 海外展開支援
- 新産業創出支援
- ビジョン・中期経営計画
- 幹部人材育成
- M&Aアドバイザー

顧客概要

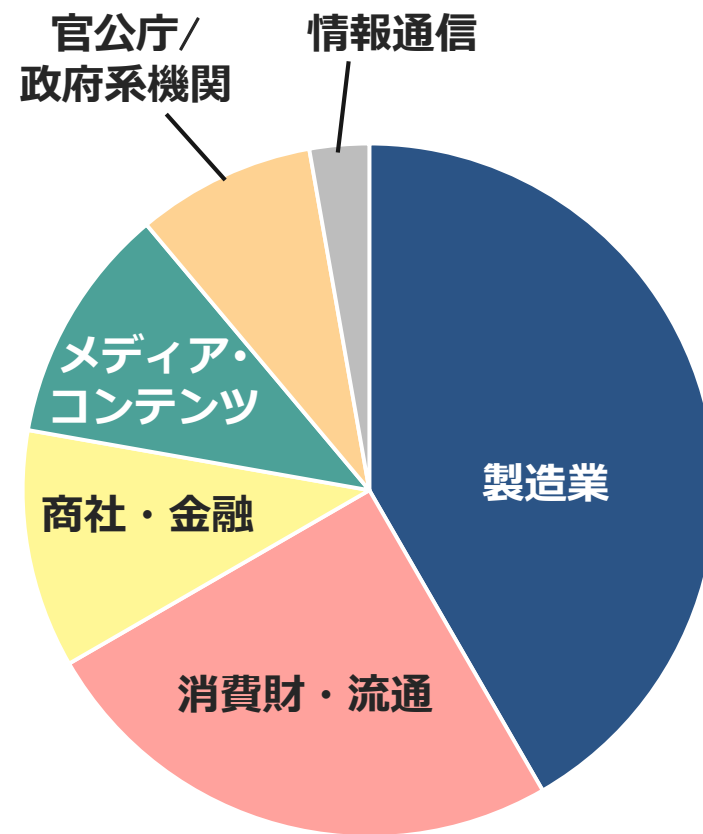
顧客の規模

経常利益

業界*順位（企業数**）

	1位	2位	3位	4位 以下
5,000億円以上	3	1		
1,000～5,000億円	3		1	3
500～1,000億円		1		1
100～500億円	1	1	1	5
100億円未満	2	2	1	6
合 計	9	5	3	15
売上高構成比 (%)	58.9	5.8	5.1	20.5

顧客の業種



* (株)ユーザベース「SPEEDA」の業界小分類に基づき、顧客業界を分類
** FA事業、教育事業、海外事業の顧客企業を含む（但し、非営利団体、ベンチャー、ブティック系ファームを除く）

バリアブントウ省 産業発展戦略 (バリアブントウ省)

- 現地政府からのコンサルティング受注
- バリアブントウ省における工業化戦略のレビュー
- 日系を含む工業団地オペレーター、大手メーカー工場の誘致戦略検討



バリアブントウ省 工業化戦略

日本式 健診センター事業 (経済産業省)

- 経済産業省 医療機器・サービス国際化推進事業の実証調査事業として採択
- 投資先であるベトナム大手医療機器販売会社 JVC、医療法人鉄蕉会、メディヴァ、日立メディコ等の日系医療機器メーカーと連携し、日本式健診センターを設立
- 日本式医療の国際展開を手掛ける



日本式健診センター

ラムドン省 農業開発戦略 (JICA)

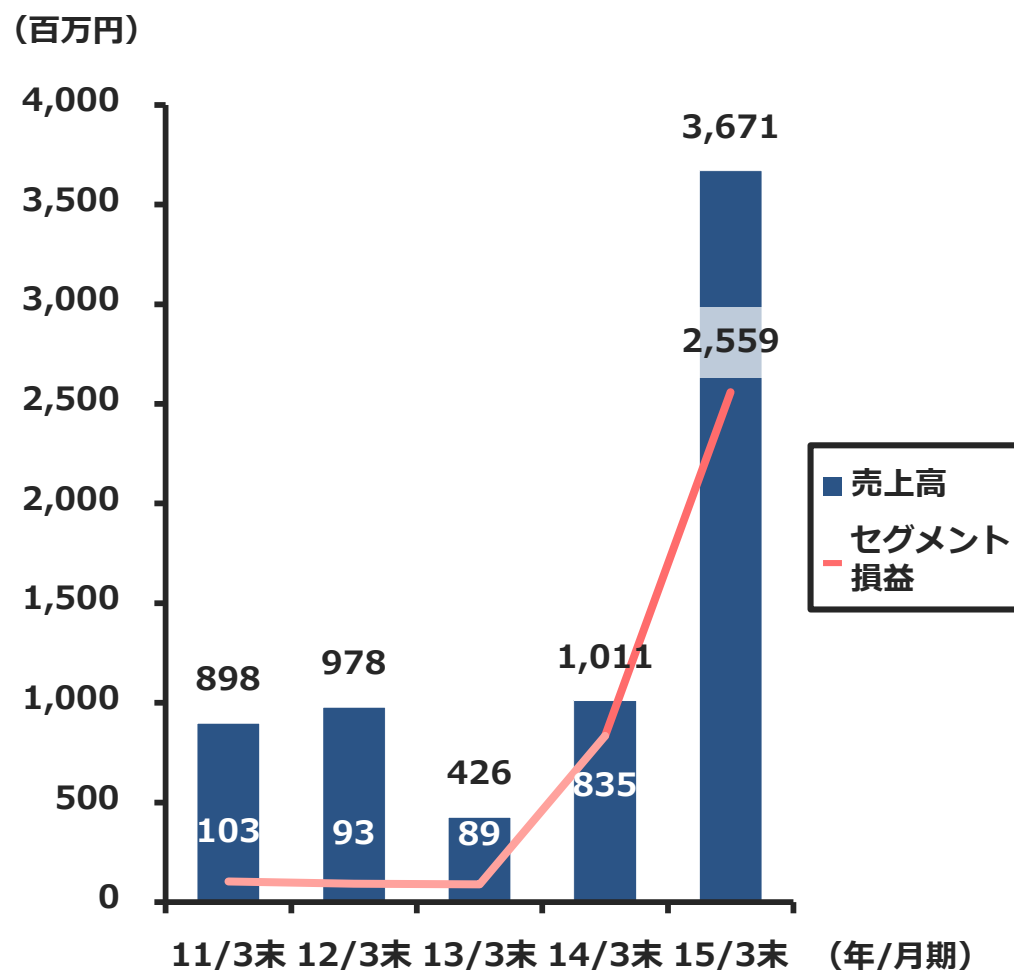
- 日越農業協力対話の中で日本がベトナム農業発展を支援することが決定（DIも参加）
- 国際協力機構（JICA）より、ラムドン省の農林水産業及び関連産業集積化に係る情報収集・確認調査を受託
(日本工営・コーエイ総合研究所と共同受託)



ラムドン省人民委員会 知事と

② 営業投資事業

業績推移



取組状況

主要未上場ポートフォリオ (百万円) *

● IT・メディア	841 (8社)
● サービス	439 (4社)
● 環境・エネルギー	13 (2社)
● その他	172 (1社)
合計	1,465 (15社)

投資 9社

- 新規5社、追加3社、S/O行使1社

IPO 1社

* 簿価200万円以上のプリンシパル投資先のみ

会社概要

社 名： 株式会社ユニオンコミュニティ

本 社： 韓国ソウル

設 立： 2000年2月

上場日： 2014年7月23日

上場市場： 韓国 KONEX市場

業 績*： 売上 27億円

税引前利益 7,200万円

出資比率*： 11.3%



事業内容

指紋認識端末機の開発・販売

- 業界のリーディングカンパニー
- 高い技術力・開発力を誇り、世界各国で評価されている
 - FVC (Fingerprint verification competition)で3年連続世界1位
 - 日本を含む、60ヶ国以上に展開



前期の主な投資実績

(株) オフィスクレッシュエンド

日本

ドラマ・映画等
映像コンテンツ制作



Entertainment Direct
Asia

中国

中国における
デジタルコンテンツ
マネジメント・配信



日越医療機器株式会社
(JVC)

ベトナム

医療機器卸売



ブレイカー (株)

日本

映像配信等のマルチ
プラットフォーム



The Raine Group

米国

テクノロジー・メディア・
テレコミュニケーションズ
(TMT) にフォーカス
した投資銀行/VC



上海清環環保科技
有限公司 (STECO)

中国

環境省エネ関係
コンサルティング



デジタルメディア領域に関する主な活動

発表時期	展開国	概 要
'12年2月	日本	東京ガールズコレクション等の知的財産権を管理するファンドである日本知財ファンド1号に出資
'13年6月	日本	コンテンツ制作会社、オフィスクレッシェンド株式会社に出資
'13年10月	日本	コンテンツプロデュース・配信会社、ブレイカー株式会社に出資
'14年1月	ベトナム	アライドアーキテクツ株式会社と連携し、 ベトナム市場向けSNSプロモーション事業に参入
'14年2月	日本	投資先である株式会社ディー・エル・イー ^(※) の株式上場が承認 ※「秘密結社 鷹の爪」等のオリジナルIPの開発でも知られるファスト・エンタテインメント事業会社
'14年6月	日本	特別顧問に丸山茂雄氏、三枝成彰氏、秋元康氏を招聘
'14年7月	米国	Siemer Summitへの登壇、スタートアップコンテストのWaveMaker Award において、社長の山川隆義が唯一の日本人として審査員に選任
'14年8月	中国	デジタルコンテンツマネジメント・配信を行う、 Entertainment Direct Asia Ltd. (EDA) への出資
'14年11月	米国	米国投資銀行The Raine Group LLCと戦略的業務提携、 同社運営のファンドにも出資
'14年12月	日本	コンテンツ制作会社、オフィスクレッシェンド株式会社に追加出資
'15年4月	タイ	アライドアーキテクツ株式会社と連携し、 タイ市場向けSNSプロモーション事業に参入

DIアジア産業ファンド： 2号ファンドを開始予定

1号ファンドは投資完了、回収フェーズへ

1号ファンド概要

目的：

- アジアの有望企業を支援・育成
- 日系企業のプレゼンス向上
- 投下資本とリターンの回収

設立： 2010年6月

運営会社：

- DI Investment Partners Limited
(DI 50%、オリックス 50%)

参加企業：

- 国際協力銀行、総合商社、
食品、流通、旅行、エンタメ

ファンド総額： 50億円

投資先

ヌティフード（37%）

乳飲料の製造・販売

- 国内シェア5位
- 30,000店舗の販売網

<DIの支援>

- “栄養・健康”を軸
とした事業拡大

JVC（31%）

医療機器の卸

- 国内シェア1位
- 国立病院1,000との接点

<DIの支援>

- 総合医療サービス会社
への事業拡大

サンテド（25%）

医薬品の卸・販売

- 民間の最大手
- 薬局チェーンも最大規模

<DIの支援>

- 薬局チェーン事業拡大

メサ（23%）

日用雑貨・食品の卸

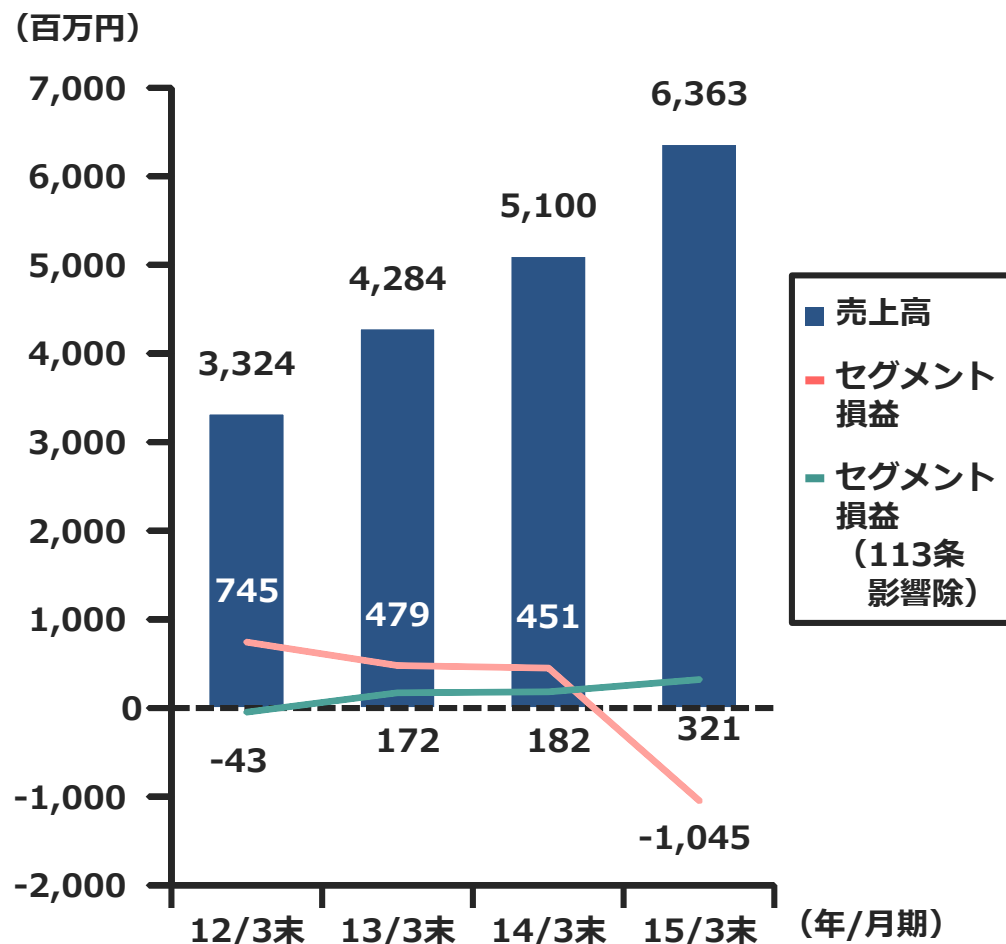
- 現地最大の卸
- 120,000店舗の販売網

<DIの支援>

- 食品・飲料領域に
おける各種支援

③保険事業（アイペット）

業績推移



取組状況

業績は想定以上の順調な伸び

- 新規獲得、継続率ともに堅調

保険業法113条繰延資産を一括償却

IPOへ向けた検討・準備を開始



(単位：百万円)	2014年3月期	2015年3月期	増減率
売上高	5,100	6,363	24.8%
支払保険金	1,601	2,053	28.3%
支払備金繰入額	77	97	26.3%
普通責任準備金繰入額	263	127	-51.4%
異常危険準備金繰入額	163	192	17.5%
売上原価	2,105	2,471	17.4%
売上総利益	2,995	3,891	29.9%
販売費及び一般管理費（①除く）	2,625	3,392	29.2%
113条影響除外営業利益	370	499	34.8%
保険業法113条繰延	▲ 538	▲ 654	-
保険業法113条繰延資産償却	467	2,614	459.2%
保険業法特有償却①	▲ 71	1,960	-
単体営業利益	441	▲ 1,461	-
正味損害率	34.1%	34.6%	
正味事業費比率	48.7%	51.0%	

注： 金額の表示単位未満は切り捨て

アイペット単体P/L（会計基準による差異）

参 考

（日本基準 vs. IFRSベース）

(単位：百万円)	日本基準			IFRSベース			
	2014年3月期	2015年3月期	差額	2014年3月期	2015年3月期	差額	備考
売上高	5,100	6,363	1,262	5,100	6,363	1,262	
支払保険金	1,601	2,053	452	1,601	2,053	452	
支払備金繰入額	77	97	20	77	97	20	
普通責任準備金繰入額	263	127	▲ 135	134	265	131	未経過保険料方式に修正 *
異常危険準備金繰入額	163	192	28	-	-	-	計上なし
売上原価	2,105	2,471	366	1,812	2,417	604	
売上総利益	2,995	3,891	896	3,287	3,945	658	
販売費及び一般管理費（①除く）	2,625	3,392	767	2,625	3,392	767	
113条影響除外営業利益	370	499	128	662	553	▲ 108	
保険業法113条繰延	▲ 538	▲ 654	▲ 115	-	-	-	計上なし
保険業法113条繰延資産償却	467	2,614	2,146	-	-	-	計上なし
保険業法特有償却①	▲ 71	1,960	2,031	-	-	-	
単体営業利益	441	▲ 1,461	▲ 1,902	662	553	▲ 108	

* 注：IFRSにおける責任準備金は「保険リスクを考慮し、十分に負債を積み事」としか定義されておらず、ここでは未経過保険料方式を準用金額の表示単位未満は切り捨て

(単位：百万円)	2014年3月期	2015年3月期	増減率
現預金	2,997	3,633	21.2%
未収保険料	271	363	34.2%
保険業法113条繰延資産	1,960	0	-100.0%
その他資産	1,040	1,280	23.1%
資産合計	6,269	5,278	-15.8%
支払備金	268	366	36.2%
責任準備金	1,560	1,688	8.2%
異常危険準備金	569	762	33.8%
保険契約準備金	2,399	2,816	17.4%
その他負債	551	391	-29.0%
負債合計	2,950	3,208	8.7%
資本金	3,064	3,064	-
資本剰余金	2,777	2,777	-
利益剰余金	▲ 2,523	▲ 3,772	-
純資産合計	3,318	2,069	-37.6%
負債および純資産合計	6,269	5,278	-15.8%

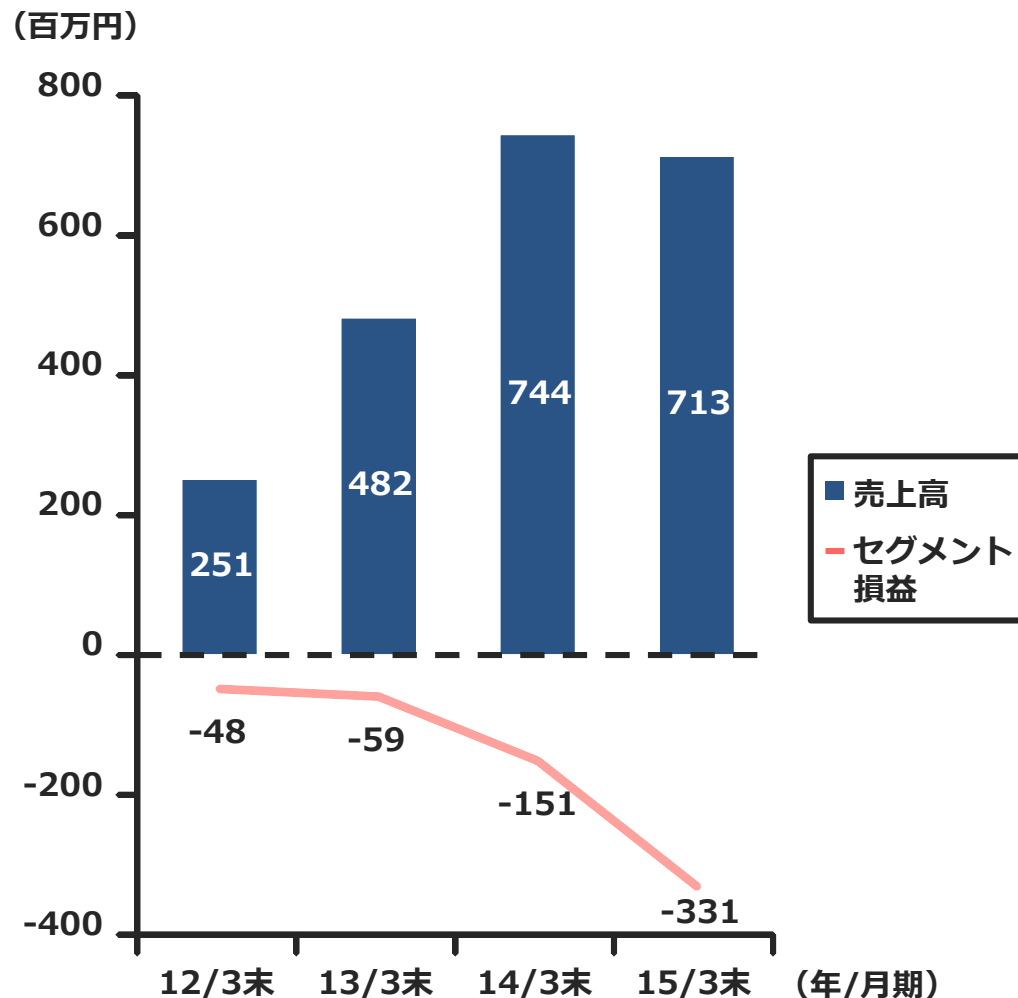
ソルベンシーマージン比率

276.4%

330.3%

④ アセットリクイデーション事業 (ReVALUE)

業績推移



取組状況

先行投資

- システム開発
- オペレーション体制強化

ヤフー株式会社と提携 (2014年7月8日)

- “リバリューBizモール” スタート
- ヤフオク！出品者向けのBtoB仕入モール

佐川急便株式会社と提携 (2014年10月21日)

- 物流業界初ワンストップ型「リバーシ・ソリューション」サービスのスタート
- 商品の在庫管理・入出庫から、返品回収、返品・滞留商品の検品・再流通までをワンストップで提供

⑤ デジタルマーケティング事業 (DI Marketing)

東南アジアにおける「ユーザデータを
活用したデジタルマーケティング」を提供

- SNSプロモーション
- オンラインサーベイ



取組状況

- 2014年1月、ベトナム市場向け参入
- 2015年4月、タイ市場向け参入



アジア地域におけるSNSマーケティング事業領域を拡大

マーケティング（1/2）： 大企業経営者向セミナー

「ビジネスプロデュース～大企業・ベンチャーの協業による事業創出」

日 時： 2015年 7月 1日（水）

場 所： ザ・キャピタルホテル東急

参加者： 定員100名

プログラム：

- 基調講演①：コマツ 野路國夫会長
「コマツのグローバル経営戦略」
- 基調講演②：DI 山川隆義
「ビジネスアーキテクチャを機軸とした戦い方とその破壊力」
- パネルディスカッション：
「“異能”との協業から、いかにビジネスを創造するか？」
（パネリスト）
 - コマツ 野路國夫代表取締役会長
 - 富士フイルム(株) 戸田雄三取締役常務執行役員
 - (株)ZMP 谷口亘社長
 - 米ペンシルベニア大学 Dr.Vijay Kumar*
 - DI 山川隆義
 - DI 堀紘一（モデレータ）



コマツ
野路國夫
代表取締役会長



富士フイルム
戸田雄三
取締役常務執行役員



ZMP
谷口亘
代表取締役社長



ペンシルベニア
大学教授
Dr.Vijay Kumar

* ロボット工学研究者
自律ロボットや、生物学的要素からのインスピレーションを取り入れた集団行動アルゴリズムの発表で世界的に知られている

マーケティング (2/2)

メディア

東洋経済オンライン連載 「ビジネスプロデューサー列伝」



出版

PHP研究所 「3000億円の事業を生み出す ビジネスプロデュース戦略」



(※15年5月13日発刊)

海外拠点： アジアを拡充

DI上海

- 2010年設立
- 日系企業の中国進出戦略
コンサルティング及び実行支援

DI東京

DIベトナム

- 2007年設立
- ベトナム現地企業に対する
投資/インキュベーション
- 日系企業の進出コンサル
ティング及び実行支援

DIマーケティング

- 2014年1月設立
- 東南アジアにおける
「ユーザデータを活用した
デジタルマーケティング」
- 2014年1月ベトナム市場参入
- 2015年4月タイ市場参入

DIシンガポール

- 東南アジア各国への拠点分散
展開に伴い、発展的に閉鎖
予定

(ミャンマー)

(インド)

(タイ)

(インドネシア)

プロフェッショナルサービス

- 成長率15%程度

ベンチャー投資育成

- 保険事業セグメント
 - 成長率 20%程度
- その他セグメント
 - アセットリクイデーション事業：通期での黒字化
 - マーケティング事業：ユーザー獲得へ先行投資
 - その他事業の仕込み
- 営業投資事業セグメント
 - IPOは複数社を見込む
 - アジア産業ファンド：1号は回収フェーズ、2号は投資フェーズ開始

<売上高>

前期	当期
97億円	⇒ 120億円

<株式売却>

35億円 ⇒ α 億円

<売上高合計>
120 + α 億円

2015年3月期 期末配当金

	2014年3月期	2015年3月期
連結当期純利益	854百万円	993百万円
1株当たり配当*	26円00銭	29円00銭
配当性向	29.50%	29.35%

* 2014年4月1日付で実施した、株式1株につき100株の株式分割に基づく金額

Dream Incubator Inc.